

「おおだて型学力」を育成する取組が動き出しています！

各校では、様々な訪問を終え、いよいよ学期末を迎えようとしています。1学期の子どもたちの姿、成長ぶりはいかがでしたか。

6月に開催した「おおだて型学力推進委員会」では、各専門組織が今年度の取組を確かめ合いました。昨年度は、「おおだて型学力」をどう捉えるか、また、どのような方向から取り組むべきかなど、各校、各組織とも試行錯誤の1年でした。その過程で、若干の軌道修正（ゴシック体）をした組織もありましたので、「おおだて型学力」のリーフレットを各自修正して下さるようお願いいたします。

また、各専門組織が担うべき課題について、高橋教育長からの助言は、下記表の★印です。

	テーマ	重点研究項目
校長会 ★「おおだて型学力」を育成する学校経営の在り方	おおだて型学力向上に向けた学校経営	1) 学校経営研究会などにおける学力向上に向けた学校経営の研究 2) 関係各協議会における学力向上施策の推進
教頭会 ★各校の「百花繚乱作戦」を通じた「おおだて型学力」の育成	地域とつながる組織運営	1) 「おおだて型学力」を育てる小・中連携の在り方 2) 「おおだて型学力」を育てるふるさとキャリア教育の推進
生徒指導協議会 ★「大館市民基礎力・実践力」を鍛える生徒指導の在り方	<u>生活・学習を支える大館の連携意識に基づく生徒指導の充実</u>	1) <u>学校間における情報と取組の共有化</u> 2) <u>学校と外部機関との情報や取組の共有化</u> 3) <u>「当たり前のことをしっかり行う」の指導・支援の共有化と標準化</u>
市教育研究会 ★市全体の「おおだて型学力」に関する研究実践の推進	授業交流の推進による授業改善	1) 各部会共通して取り組む「 <u>おおだて型学力</u> 」を育てる授業実践の推進 2) 部会の特性を生かした授業等交流の一層の充実
研究主任会 ★「おおだて型学力を鍛える授業」の研究実践の推進	学び合う力の育成	1) ねらいに迫るための明確な課題提示 2) 伝え合う手立ての工夫
教務主任会 ★校内における「おおだて型学力」推進の全体計画	自他の伸長をはかる教育課程	1) 自校課題の解決に向けた教育課程の編成と推進 2) 小・中連携の重点を育む実践の共有
教育研究所 ★「おおだて型学力」推進にかかる指針の提示と啓発・まとめ	子どもの特性に応じた学びの推進	1) 子どもハローワーク事業の充実 2) 「どこでも支援教育・だれでも支援教育」の推進
進路指導協議会 ★「職業的自己実現力」を培う進路指導の在り方	自分の未来を切り拓く進路指導	1) ボランティア活動への参加奨励、事例紹介 2) 目標に向かって確実に行動する力の育成
特別支援教育協議会 ★「自立の能力」を身に付けさせる特別支援教育の在り方	自立と社会参加を目指して	1) 児童生徒の将来を見据えた自立と社会参加に必要な力の明瞭化

特別支援教育協議会

自立と社会参加に係わる「将来必要な力」について

昨年度は、第8次学力向上に関する提言を受けて市教育委員会から『社会をたくましく生き抜くための「社会人（大館市民）基礎力」「社会人（大館市民）実践力」を育てる』とする目標が提言されました。

本協議会では、特別支援学級に在籍している児童生徒の自立と社会参加を目指して取り組み、具体的にどんな力が必要であるのか、それを知るために障害者の受け入れに理解のある40社にアンケート調査（資料1 スキル達成目標一覧参照）を行いました。調査結果については、昨年度の「SHI・N・KA（第2号）」に記載したとおりです。

今年度は、その調査結果を受けて、スキル達成表（資料2参照）を作成し、実際の活用につなげたいと考えています。具体的には、1学期中にスキル達成目標一覧【資料1】から各項目（各校2項目ずつ）の5段階を設定し、それを集約してスキル達成表を作成します。2・3学期は、作成したスキル達成表を基にして各校特別支援学級の児童生徒一人一人の実態から、課題とする項目を3つ程度選択し、その達成に向けて指導する予定です。年度末には実践の結果を【資料2 参照】を調査し、各項目の5段階の妥当性を含め検討し、作成したスキル達成表が日々の学校生活でさらに実践的・効果的であるように精度を高めていきたいと思っています。

【資料1 スキル達成目標一覧】

分野	項目	スキル最終達成目標（5の段階）
基 生 本 活 的 習 慣	1 生活のリズム	起床・就寝時間が決まって、自分で実行できる。
	2 時間の遵守	自分で時間を守って行動できる。
	3 規則の遵守	ルールを守って生活ができる。
	4 身だしなみ	場に応じた、清潔な身なりができる。
	5 健康管理	体調不良の時、伝えることができる。
	6 栄養	好き嫌いなく食事をする事ができる。
コ ミ ュ ニ シ ョ ン	7 挨拶	自分から大きな声で挨拶ができる
	8 返事	声をかけられたり名前を呼ばれたりした時、返事をする事ができる。
	9 素直さ	指示や注意に素直に従うことができる。
	10 言葉遣い	場に応じた適切な言葉遣いをする事ができる。
	11 感謝・謝罪	支援を受けたり失敗したりしたときに、感謝したり謝罪したりできる。
	12 意思の伝達	「できました。」「できません。」など自分の思いを伝えることができる。
	13 質問	分からないときは自分で聞ける。
	14 他者との協調	周囲の人と仲良く会話や活動ができる。
活 動 遂 行 力	15 指示の理解	指示通り活動することができる。
	16 集中力	集中して活動することができる。
	17 忍耐力（持続力）	途中で投げ出さないうで、最後まで活動することができる。
	18 正確さ	正確に活動することができる。
	19 丁寧さ	道具や用具を丁寧に扱うことができる。
	20 整理整頓	自分で整理整頓ができる。
	21 清掃	正しく用具を使い、きれいに清掃ができる。
	22 危険への配慮	危険に注意を払い活動する。

【資料2 項目：1生活のリズムの記入例】

平成27年度	学校	年	氏名
基本的な生活習慣	1 生活のリズム	★5の段階を最終的なねらいとする。	
1 段階	起床・就寝時間等が決まっていない。		(全くできていない)
2 段階	家族の支援があってもできないことが多い。		
3 段階	家族の支援があればできることもある。(1週間のうち半分くらい)		(誰かの支援があればできる)
4 段階	家族の支援でおおむねできる。		
5 段階	起床・就寝時間が決まって、自分で実行できる。		(いつも一人でできる)
1学期の実態 (2段階)	起床・就寝時間を家族と話し合っているが、家族の支援があってもできないことがほとんどである。		
	学期の手立て	学期の反省	
2学期 (学期末 3段階)	・時間通り起床や就寝時の声かけを保護者に依頼する。できたときは学校に連絡してもらい、ことばで褒めたり、カレンダーにシールを貼って称賛したりする。	・1日の中でどちらかができることが多くなった。本人もできたときは喜んで報告できた。	
3学期 (年度末 3段階)	・さらに実行回数が多くなるように、励ましたり、シールの数を集計して表彰したりする。 ・自主的な活動を促すために、目覚まし時計の活用を経験させる。	・実行回数は、2学期と同じ程度である。目覚まし時計を使用して起床することもあった。いずれも家族の支援が不可欠である。	
来年度にむけての課題	・励ましと実施できたときの称賛を継続して行う。 ・引き続き目覚まし時計の活用を依頼する。		

1 段階	(全くできていない状態)
2 段階	
3 段階	(誰かの支援があればできる状態)
4 段階	
5 段階	(いつも一人でできている状態)

★各項目とも5段階を記入した表に、各校の協議会会員で、1から4の段階を考察記入し表を完成させる。



教育研究所 「どこでも支援教育・だれでも支援教育」 お知らせ

学級にはいろいろな子どもがいることを前提に、学級経営をし、個々の特性に応じた支援や指導を考えていく時代になりました。教育研究所では、人的・物的支援、情報提供の支援ができる体制を整えています。

その1 SC

5月から毎週火曜日、スクールカウンセラー向井さやか先生が桂城小学校に勤務しています。他校からの要請で派遣することもできます。ご活用ください。
*夏休みに、スクールカウンセラーに、検査をした子の結果の解説を聞き、2学期の指導方針を考えてみませんか？

その2 教材

通常学級に在籍している支援を必要としている子どもに役立つ教材や書籍を必要な期間、貸し出しています。各校に「教材一覧表」をお渡ししています。また、一覧にない教材は、依頼に応じて購入し、貸し出しますので、ご連絡ください。

その3 研修

全国的に有名な桂聖先生（筑波大附属小）のユニバーサルデザインの講演（夏季研修会）は2学期からの国語指導に役立つこと、間違いなし！
8月28日には、通級指導教室の先生を中心に「ビジョン・トレーニング」の研修会も予定しています。興味のある先生はどうぞ。

教育研究所 「子どもハローワーク 夏休みの募集内容」 お知らせ

今年子どもハローワークは一部、バスでの送迎が可能になり、申込状況に応じて、それぞれ学区近くから乗降車できます。担任の先生方は、学級の子どもの夢や目標をご存じかと思えます。子ども達が、広く職業を知る、自分の適性を探る、夢の実現に向けて情報を得るために、子どもハローワークへの申込に背中を押して下さるようお願いいたします。

また、夏休みこそ、地域や社会に出て、知らない大人や一緒に参加した他校生と活動を共にする中で、コミュニケーションの力や協働力など学校での学びを学校以外の場で実践でき、「大館市民基礎力・実践力」を身に付ける機会にもなります。

小学生は、自由研究の題材ともなりますし、先生方も参加していただくと、ふるさとキャリア教育に生かせるヒントが見つかります。

中学生には、お薦めしたい新企画です！



*募集票のこのマークは
バスが出ます

No.27 薬剤師

中学生20名
模擬体験や薬学部見学
7/25 青森大

保育士・保育教諭

No.29 男子もOK
模擬講義と大学見学
7/30 東北女子短大

技術者

No.30 研究者
体験と研究室見学
8/1 秋田大
国際資源学部

理学療法士

No.30
学部見学と体験
8/1 秋田大医学部

No.28

大工・自動車整備工
中学生15名
学校見学と木工製作
7/29 鷹巣技術専門学校

各学部見学

No.31
8/5 弘前大
人文・教育・理工・
農学生命科学部

申込締め切りは、
15日(水)

No.27,29は13日(月)

No.32

考古学・学芸員

遺跡発掘体験
8/18 西館地区

☆ 学校以外での様々な体験は、特別な支援を必要とする子どもを育てる機会になります。事前にお知らせいただければ、スタッフを増やすなど配慮することもできます。



高橋教育長から、「おおだて型学力」を育成する授業として、「教師主導型の一言指導から脱却」する年にしてほしい。たとえ失敗しても、そこから必ず「進化」が始まる！」という言葉もありました。

教師も子どもも、まずは、「アクション」、一步を踏み出してみましよう！！